

# カナリアの飼育準備

## 飼育カゴ

- ・ 鳴き声を楽しむ場合は、雄一羽を小型の鳥カゴやコンテストケージ等で飼育しますが、鳥の健康維持のためには、できるだけ大きい飼育カゴでの飼育が望まれます。
- ・ 巣引きして、雛を得るためには、大型の庭箱（一辺が40cm以上）、又は、同程度の大きさの角形の金カゴを使用します。（巣皿の周囲を目隠しする必要があります）

## カゴを置く場所

- ・ 玄関や縁側、ベランダ等に置く場合が多いようですが、猫、イタチ、ヘビ、モズ等の危害防止対策が必要です。軒下は風や日光が強くヘビやモズの被害も多いようです。
- ・ また、巣引きする場合は、鳥カゴを動かさない事も大切です。このため、危険が無く静かで明るい場所を選びます。（電灯の影響が無く、夕方自然に暗くなる所）

## 飼育に必要な器具

- ・ エサ入れ（粒エサ、ボレー粉、卵エサ等）、菜差し、水入れ、水浴器などが必要です。
- ・ カナリアはエサを散らすので、カバーや仕切りのあるエサ入れ、あるいは、底が深くて散りにくいエサ入れが良いようです。ボレー粉や卵餌は、小さな容器で与えます。
- ・ 青菜を好むので、菜差しは大きいものが良く、毎日与えます。
- ・ 水入れは糞で汚染されないように、カバー付きのものが良く、水浴器とは区別します。
- ・ 水浴器は、小判型の磁器製が一般的です。プラスチック製品もあります。
- ・ 粒餌の配合は、カナリーシード50%に、ナタネ、ヒエなどを配合しますが、巣引きや換羽の時期は、卵餌なども十分に与えます。また、狭いカゴで運動不足となり易い時は、ヒエ等の割合をやや多くして極端な肥満鳥とならないように注意します。

## 巣引きに必要な器具

- ・ ワラ等で作られた皿巢（平たい皿のような形をしている）、皿巢フック（プラスチック製が多い）、巣草（シュロの皮をほぐしたようなもの）が必要です。また、場合によっては擬卵（カナリアの卵そっくりにつくられている）も使用します。